

令和 4 年度（2022 年度）北海道原子力防災総合訓練の実施結果について

1. 訓練日時

令和 4 年（2022 年）10 月 31 日（月）9：00～15：00

2. 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び 13 町村）

3. 参加機関

避難先など 23 市町村、内閣府、北海道電力(株)、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安部、北海道開発局、札幌管区气象台、北海道警察、消防機関、(一社)北海道バス協会ほか（332 機関）

4. 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下において、後志地方西部を震源とする最大震度 6 強の地震が発生。地震後、北海道電力(株)泊発電所 3 号機において、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障等により原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

5. 訓練結果（主なもの）

(1) 意思決定訓練

項目	主な実施内容
■ オフサイトセンター運営訓練	○ 関係機関の要員が参集し、防護措置の検討・調整を実施（一部ブラインド方式により実施）[国、自治体、実動組織など 計 26 機関 171 人]
■ 災害対策本部等運営訓練	○ 道、町村の災害対策本部の設置・運営を実施

(2) 実動訓練

項目	主な実施内容																																		
■ 住民避難等訓練 参加人数合計 8,303 人 [避難 342 人 ・屋内退避 7,961 人]	○ 感染症対策を講じたバス等による避難等を実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>町村名</th> <th>避難者数（屋内退避者数）</th> <th>避難方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PAZ</td> <td>泊村</td> <td>127 (0)</td> <td>バス 6 台、普通車両 2 台、福祉車両 1 台</td> </tr> <tr> <td>共和町</td> <td>25 (244)</td> <td>バス 2 台、普通車両 1 台、福祉車両 1 台</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">UPZ</td> <td>泊村</td> <td>6 (0)</td> <td>バス 1 台</td> </tr> <tr> <td>神恵内村</td> <td>10 (224)</td> <td>バス 1 台</td> </tr> <tr> <td>積丹町</td> <td>35 (252)</td> <td>バス 2 台、巡視艇 1 隻</td> </tr> <tr> <td>古平町</td> <td>22 (812)</td> <td>バス 2 台、ヘリコプター 1 機</td> </tr> <tr> <td>余市町</td> <td>73 (324)</td> <td>バス 3 台、装甲車 1 台</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>44 (6,105)</td> <td>バス 4 台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>342 (7,961)</td> <td>バス 21 台、普通車両 3 台、福祉車両 2 台、巡視艇 1 隻、ヘリコプター 1 機、装甲車 1 台</td> </tr> </tbody> </table>	区分	町村名	避難者数（屋内退避者数）	避難方法	PAZ	泊村	127 (0)	バス 6 台、普通車両 2 台、福祉車両 1 台	共和町	25 (244)	バス 2 台、普通車両 1 台、福祉車両 1 台	UPZ	泊村	6 (0)	バス 1 台	神恵内村	10 (224)	バス 1 台	積丹町	35 (252)	バス 2 台、巡視艇 1 隻	古平町	22 (812)	バス 2 台、ヘリコプター 1 機	余市町	73 (324)	バス 3 台、装甲車 1 台	その他	44 (6,105)	バス 4 台	合計		342 (7,961)	バス 21 台、普通車両 3 台、福祉車両 2 台、巡視艇 1 隻、ヘリコプター 1 機、装甲車 1 台
区分	町村名	避難者数（屋内退避者数）	避難方法																																
PAZ	泊村	127 (0)	バス 6 台、普通車両 2 台、福祉車両 1 台																																
	共和町	25 (244)	バス 2 台、普通車両 1 台、福祉車両 1 台																																
UPZ	泊村	6 (0)	バス 1 台																																
	神恵内村	10 (224)	バス 1 台																																
	積丹町	35 (252)	バス 2 台、巡視艇 1 隻																																
	古平町	22 (812)	バス 2 台、ヘリコプター 1 機																																
	余市町	73 (324)	バス 3 台、装甲車 1 台																																
	その他	44 (6,105)	バス 4 台																																
合計		342 (7,961)	バス 21 台、普通車両 3 台、福祉車両 2 台、巡視艇 1 隻、ヘリコプター 1 機、装甲車 1 台																																
孤立地域を想定した避難	○ 実動機関による孤立地域からの住民の救出救助を実施 [積丹町（巡視艇）、古平町（ヘリコプター）、余市町（装甲車）]																																		
避難所の開設	○ 避難所の開設・運営を実施 [共和町、余市町] ○ 多言語による情報伝達を実施 [余市町]																																		
要配慮者避難等	○ 社会福祉施設や学校の避難を実施 [泊村、余市町] ○ 要配慮者の放射線防護施設への屋内退避等を実施 [共和町、古平町、余市町]																																		
一時滞り場所設置・運営	○ 避難住民の受付・誘導を実施 [泊村、共和町、古平町、余市町]																																		
避難経路から迂回路への緊急誘導	○ 避難経路が急きょ通行不可となった場合を想定し、迂回路の調整や警察官による車両誘導を実施（一部ブラインド方式により実施）[古平町車両 1 台を小樽市内で誘導]																																		
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 避難退域時検査及び簡易除染 [余市町、小樽市] ○ 安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布 ○ 医療機関への患者搬送と受入施設での医療措置																																		
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○ 重点区域内におけるモニタリング活動																																		

※数値はいずれも速報値

6. 今後の対応

訓練に参加した住民の方々に対するアンケート調査、防災関係機関に対する事後調査等を通じて課題等を整理し、訓練報告書を取りまとめるとともに、今後の訓練や防災対策に反映していく。